



北海道大学産学・地域協働推進機構に先進動画伝送研究部門を設置

～システム・ケイとの共同研究により新規性の高い動画像関連システムの開発に期待～

【概要】

2019年9月1日（日）に、北海道大学はサクサグループの株式会社システム・ケイ（代表取締役：鳴海鼓大）との共同研究を開始し、産業創出部門（先進動画伝送研究部門）を本学産学・地域協働推進機構に設置しました。

【目的】

アナログカメラからの移行もあり、近年では、高画質で利便性の高いネットワークカメラの市場が拡大しています。蓄積した動画データに対し AI 画像認識を用いることで、様々な分野での利用と継続的な成長が期待されています。本研究部門では、大学と企業が連携して、それぞれが持つ独創的な技術及び発想を融合し、革新的な研究開発を行うことを目的とします。

【共同研究について】

《テーマ》

- ① ネットワークカメラで撮影した動画の高圧縮・高速受信配信システムの開発
- ② ネットワークカメラで撮影した動画と AI 画像認識連携システムの開発
- ③ AI 画像認識の効率的な開発手法を検討

《メリット》

ビッグデータ、可視化、AI などの分野で豊富な研究実績を持つ北海道大学と、ネットワークカメラ関連システムで数多くの開発・導入実績がある株式会社システム・ケイとの協業により、以下のとおり研究開発を加速させることができます。

- ① 両研究組織の協業から生み出される新規性の高い動画像関連システムの開発
- ② 若手研究者の成長とモチベーションの向上
- ③ FMI 国際拠点における協業支援環境の活用

【設置場所】 北海道大学フード&メディカルイノベーション（FMI）国際拠点
（札幌市北区北 21 条西 11 丁目）

【参画部局】 北海道大学大学院情報科学研究院

【設置部局】 北海道大学産学・地域協働推進機構

【設置期間】 2019年9月1日から2022年3月31日までの2年7ヶ月間

【産業創出部門について】

北海道大学が、企業と組織対組織型*1の大型共同研究を推進するために、2014年4月から開始した制度です。

《目指すもの》

従来型の共同研究は、大学の1研究者（または研究室）と企業の研究所や研究開発部門との共同研究であるのに対し、本部門では、企業とイコールパートナーシップ*2の関係の下、共に新産業の創出・事業化を目指して共同研究を行います。具体的には、以下のとおりです。

- ① 北海道大学が企業と行う共同研究の新しい形態
- ② 大学と企業、双方のトップマネジメントが積極的に関わり、両者が研究や経営のリソースを提供しながら、新産業の創出や事業化を目指します。

《設置要件》

- ① 産業創出部門の理念を双方で共有すること
※理念の例：組織対組織型の共同研究を実施、イコールパートナーシップの尊重、ミッションとゴールの共有など
- ② 企業が北海道大学の施設内に研究室を2年以上の期間設置し、共同研究を行うこと
- ③ 北海道大学と企業が相互に人材を提供し、アンダーワンルーフ（ひとつ屋根）の下、協働しながら共同研究を行うこと

お問い合わせ先

北海道大学大学院情報科学研究院 メディアネットワーク部門 教授 宮永喜一（みやながよしかず）

T E L 011-706-6489 F A X 011-706-7121 メール miya@ist.hokudai.ac.jp

株式会社システム・ケイ 管理本部 田中宏明（たなかひろあき）

T E L 011-704-4321 F A X 011-704-4322 メール h.tanaka@systemk.co.jp

配信元

北海道大学総務企画部広報課（〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目）

T E L 011-706-2610 F A X 011-706-2092 メール kouhou@jimu.hokudai.ac.jp

【用語解説】

*1 組織対組織型 … 企業及び大学のトップマネジメントが関与した、両者の組織をあげた共同研究のこと。

*2 イコールパートナーシップ … 対等な関係で行う協力や提携のこと。